

Case : 249

ベッドフレームに引っかかっていたため支柱が折れ、転倒しそうになる

場面の説明

四点杖のベースがベッドのフレームの下に潜り込んだ状態で立ち上がろうとしており、四点杖の支柱が折れそうになる



利用シーン	 立ち座り
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 歩行補助杖
分類コード (CCTA95)	120318 (四脚杖)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

この事例のような介護用のベッドだけではなく、一般家具の木製ベッドでも、多点杖のベースの高さとベッド下部の隙間の関係によっては起こりうる事例です。体重を支え頑丈そうな杖でも、想定外の方向からテコの作用で増大された力がかかることで簡単に変形、破損してしまいます。ベッドサイドで四点杖を使う場合は、このようなことが起こる可能性があるかどうか、一度確認することをお勧めします。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：下をよく確認せずに立ち上がろうとした
- 人：立ち上がり方法について検討していなかった
- 環境：このような危険を予測して安全な使用を助言してくれる人が周囲にいなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 249

ベッドフレームに引っかかっていたため支柱が折れ、転倒しそうになる

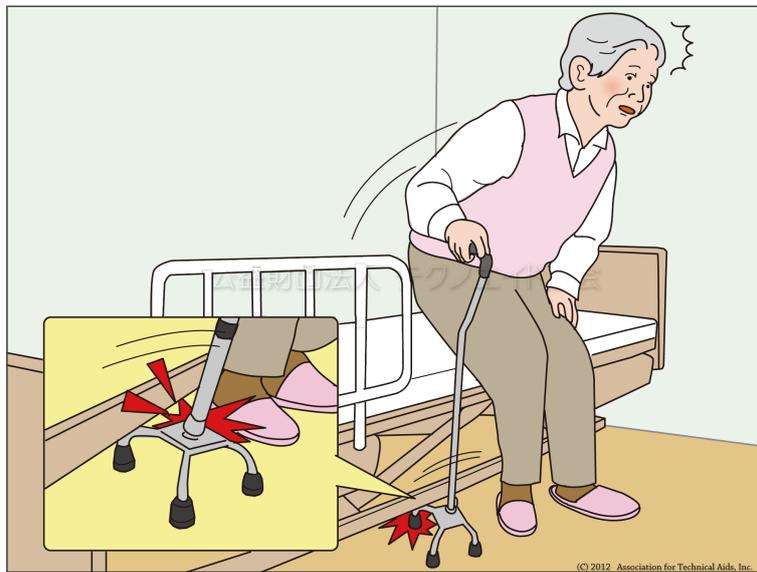
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

四点杖のベースがベッドのフレームの下に潜り込んだ状態で立ち上がろうとしており、四点杖の支柱が折れそうになる



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ